

2020年度事業報告書

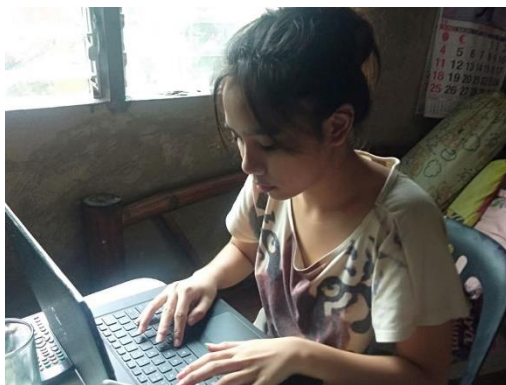
NPO法人 DAREDEMO HERO

1. 活動の成果



フィリピンセブ島で活動するDAREDEMO HEROでは、48名の貧困層の子どもたちに対して、教育支援を行っています。また、コロナ禍で生活に困窮する貧困層に対する支援を続けています。

DAREDEMO HEROが支援する子どもたちは、貧困がゆえに勉強がしたくてもできない子どもたちです。彼らに必要な栄養と整った学習環境を提供することにより、将来この国の貧困問題を解決する一因となるよう教育をしています。



2020年は、コロナと共に歩んだ1年となりました。フィリピンは2020年3月より、2021年5月現在まで、全校全ての学校で対面授業が禁止されています。その中で、奨学生に学びの機会を提供し続けるために、当団体では奨学生全員に対して、パソコン、Wi-Fi環境を提供し、家庭でオンライン授業が受けられる環境を提供しています。また、生活費の支給を続けることにより、奨学生が飢えることなく、勉学に集中できるよう支援しています。

奨学生に対する学費支援も継続しており、私立の学校に通う奨学生も無事に進級、進学ができました。



フィリピンでは、2020年3月より厳しいコミュニティー隔離措置が取られており、貧困層は「コロナで死ぬ前に、飢えで死んでしまう」と訴えるほど、困窮した生活を送っています。そのような状況下で、DAREDEMO HEROは6か所の貧困地区を中心に、約1,000世帯に対して緊急支援として、食糧や生活必需品の配布を継続的に行ってきました。

現在は、支援の方法を「緊急支援」から「自立支援」に移行し、この状況下で貧困層が自らの力で生き抜くための力をつけるべく、様々な活動を行っています。



コロナ禍での新規事業

- ・最貧困地区でラーニングセンターを開設
- ・貧困家庭300世帯を対象に、栄養指導
- ・5か所にコンピュータールームを設置
- ・山岳零細農家に対するマイクロファイナンス事業



2. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①通常総会

開催日

開催場所 オンライン

出席者

議事内容 2020年度（第2期）

事業計画、活動予算の承認等

(2) 賛助会員

①企業会員 3社

②里親会員 103名

②一般会員 13名

(4) 連携グループ

日比NGOネットワーク（JPN）準会員

(5) 助成金実績

ジョンソンアンドジョンソン株式会社 奨学生の食費、奨学金として

公益信託今井記念海外基金 「貧困層からのリーダー育成事業」